



RI第2530地区 県北第1分区 2016-2017年度

福島南ロータリークラブ会報



RI会長 ジョンF.ジャーム テーマ「人類に奉仕するロータリー」

RI第2530地区ガバナー 佐久間 英一

福島南ロータリークラブ 会長 佐久間 功 幹事 横山 りつ子

目標「明るく、元気に広がる奉仕の輪」

平成29年

4月5日(水)

例会会場：福島サンパレス

第36回 例会

会員 / 74名 出席 / 46名 出席率 / 62.16%

メイクアップ / 28名 修正 / 74名 修正率 / 100.0%

2016-2017年度 福島南ロータリークラブ会長

会長挨拶 佐久間 功 会長

今日は、母子の健康月間です。

今日は、はじめに日野皓正復興支援ライブ開催の御礼を申し上げます。3月26日は、会員の皆様のご協力によりまして大成功に終わりました。当日は、あいにくの雨にも関わらず、1200名に及ぶ来場者があり、大変な反響がありました。来場者の感想は異口同音、どなたも感動したとの感想を寄せられました。中には、翌日に、入場無料では申し訳ないと御礼にお花を持ってこられたお客様もありました。準備は大変でしたが無事終えて安心しました。詳しくは、後程実行委員長から報告があります。

先ほど本日のお客様をご紹介しましたが、元会員で福島南RC第13代会長の佐藤様をお迎えしております。御年100歳になられましたが、お元気でられます。佐藤様は、在籍中、ロータリーの歴史という小冊子を編集され、クラブに残されました。今でもロータリーの歴史を知る上で重要な資料となっています。又、5月14日には佐藤様さんの庭の特設コースで100歳記念ミニゴルフが行われますので振るってご参加ください。

4月3日には、東京麹町RCの観桜会へ大橋PG、黒羽会員、廣澤ご夫妻と私で参加して参りました。会場は東京都文京区にある椿山荘で行われ、交流を深めてきました。来週の当クラブの観桜会には、東京麹町RCから時園会長をはじめ6名の方がいらっしゃいます。

4月のRI交換レートは、1ドル116円です。

4月12日(水)のプログラム

- 18:00 1.開会点鐘
- 2.ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3.行動規範の唱和
- 4.来訪者紹介と会長挨拶
- 5.東京麹町RC会長挨拶
- 6.スマイリングBOXの報告
- 7.ロータリー財団表彰
- 8.地区正副リーダー会議報告
- 9.幹事報告
- 18:24 10.閉会点鐘
- 18:30 例会終了後 家族観桜会

今後のプログラム

- 4月19日(水) 第38回例会
 - ・米山奨学金授与
 - ・花野山児童支援事業報告
 - ・会員スピーチ(穴戸 清和 会員)
- 4月26日(水) 第39回例会
 - ・福島南RCゴルフコンペ報告
 - ・会員スピーチ(國井 元 会員・海老根 潤 会員)

地区情報・第一分区・関連情報

- 4月14日(金) 第7回会長幹事会(二本松)
- 4月15日(土) 第一分区幹事セミナー(辰日屋)
- 4月16日(日) 花野山児童支援事業
- 4月23日(日) 福島南RCゴルフコンペ(民報コース)
- 4月23日(日) 米山カウンセラー説明会
- 4月23日(日) 米山奨学生オリエンテーション(郡山)
- 4月23日(日) 福島21RCみんなで繋ごう歌まつり(こむこむ)



佐藤 信 元会員スピーチ

元会員の佐藤信でございます。この度は、例会に御案内を頂きましたが、最近ボケが進み、お断りしようと思いましたが、ワタヨシさんの強い勧めで出て参りました。

本日は、私の人間形成の上で大きな影響を受けたロータリーと、現在生き甲斐としているミニゴルフ場についてお話をします。私は昭和52年1月、福島南RCに入会し、「超我の奉仕」について学びました。当クラブは現在、大橋廣治パストガバナーを筆頭に、人材が豊富で、地区を代表するクラブとして活躍されております。

平成20年、私が退会したとき、廣澤俊樹会長、大野順道幹事はじめ、会員皆様が寄せ書きした南クラブの旗を頂きましたので、それを寝室に掲げ、朝晩眺めておりますが、この旗が私のロータリー人生を元気づけております。

平成19年1月、地域に根差した幅広い奉仕活動をしていた妻が急逝した。私はロータリアンとしての奉仕活動には参加していたが、地元には何も貢献していなかった事に気が付き、今後は妻の分まで地域の為に恩返しをしなければと思った。

半年程経った頃、仁井田にあるパターゴルフ場で、初めてパター1本でコースを廻る競技を体験したとき、私はこのゴルフ場を自宅に造成し、地域住民に無料で開放するアイデアが浮かんだのである。

早速ワタヨシさんが奉仕の精神で工事に着手し、平成19年10月、地域のお年寄りが健康増進と親睦を深め、安心してくつろげる「ふるさとミニゴルフ場」が完成した。翌平成20年11月、福島南RCではパターやボールを寄贈するとともに、芋煮会を兼ねた開場記念コンペを盛大に行った。平成21年12月福島民報新聞紙上にゴルフ場が紹介報道された。更に、平成27年には林克重さんの名文による紹介記事が「ロータリーの友」誌に掲載され、全国の会員から激励された。

現在ゴルフ場の利用者数は、ホームコースとしている地元平石長寿部会が年間1,000名以上が利用している他、近隣地区からの来場者も数多くあり、造成して本当によかったと思っております。このミニゴルフ場の維持管理が私の生き甲斐であり、これが長生きの秘訣であります。



大橋廣治パストガバナー挨拶

先生、本当にありがとうございました。全くお変わりない。100才ロータリーを一生懸命やると奉仕活動を一生懸命やるとドクター要らない。大原病院が立派にできたのだけれど、やっていけるのかなと心配になってきました。

先生のような方々が大勢いたら病院は、やっていけない。すごい方です。私は、国内のRI理事をほとんど方存じておりますが、現在のRI理事よりも信先生の方がすごく勉強されていた。この方は、福島南RCにおいておくのではなく、エバンストンにおくとよかった。本当はそれだけすごい先生なのです。ロータリアンには、誕生日は、3回あると言われている。まず最初の誕生日は、自分の誕生日。2つ目は、結婚記念日。3つ目がロータリークラブへの入会日。

実は、私は今から33年前に信先生にピンバッチをつけて頂いた。ですから、私は、一生信先生を忘れるわけにいかない。私のロータリーの先生は、佐藤信先生ということで今までやってきた訳ですが、今から7年前当クラブでガバナーの選出で色々ございました。

その時に一番にご相談に上がったのが佐藤信先生でした。その時背中を押して下さったのが、佐藤信先生であります。その時のことを含めて将来先生を忘れることができない。大変な借りを作ってまいったとそんな思いで普段おるところでございます。

先生は、いつもおっしゃっていた「私は、ロータリーで作られたんだ。人間をロータリーで作られたんだ。色々な方にお世話になった」として先程おっしゃっていましたが「パターゴルフ場を造られて皆さんに来て頂いて皆さんの喜んで頂いた姿を見るのが嬉しい」ということを言っておられました。まさにおしゃる通りだろうと思っております。

私共のクラブから信先生のようなすごい方が出られたということを誇りにして参りたいと思います。先生からの頂いた本を大事にして今まで読ませて頂きましたが、皆さんもこれを読んで頂ければガバナー出来ますのでクラブにございますのでご覧になって頂きたいと思っております。重ねて先生のご健勝を心からお祈り致しまして御礼の言葉と致します。

ありがとうございました。



地区職業奉仕委員会セミナー報告

職業奉仕委員会
三浦 善治 委員長

去る、3月18日郡山ユラックス熱海において職業奉仕委員会のセミナーが開催されました。当クラブからは、佐久間 功会長 横山 りつ子幹事 三浦 善治職業奉仕委員会委員長の3名が出席しました。会津若松中央ロータリークラブ会長 福西 宣孝様の「職業奉仕とその復権」の講演があり、講演内容は次のとおりです。職業奉仕と具体例1、職業奉仕を職業倫理運動としてみる。職業奉仕とは、世のため人のために奉仕する心をもって職業を営むこと。その具体例として、適正価額、アフターサービス、利益の適正配分など。

2、基本理念は利己と利他の調和（1）利他は、「愛」から生まれる。（2）「愛」の世界では、①契約履行時に、「感謝」と「満足」が生まれ、又、契約関係終了後も、「精算されない人間関係」が残る（取引の継続性）（3）打算の欲望で支配される職業を、愛の心理コントロールし、両者を合体させて一段高いものにする。自分、相手、社会皆の利益になる結果を産む。

3、職業奉仕は、個人奉仕であり精神的奉仕である。

< 職業奉仕の復権 >

第1 職業奉仕は、何故復権させるべきなのか

1 Rは、職業奉仕を通して人生論に結びつく

（1）職業奉仕は、毎日の営み（日常性）の中での奉仕、膨大なエネルギーを投入する奉仕（人生の量的側面）

（2）職業奉仕は、社会に価値を産み出し、人生の質を高める奉仕（人生の質的側面）

①職業の三要素：ア生活の糧を得る。イ社会的分業に参加する。ウ自己実現を図る。

②「社会的分業に参加する」とは：社会に価値を産み出すこと、社会に利益を与えることを、様々な分野の職業で分担すること。

③しかし、職業に負の側面：職業倫理を無視して暴利を貪るやり方で職業を営むこと、世の中に損害と不利益を与える。

④よって、職業奉仕は、職業によって社会にマイナスではなくプラスを産み出すことであり、社会に価値を産み出す効率性が高い。

⑤職業奉仕は、社会に価値を産み出す人生を生きること→人生の質を高めること＝人生論に直結。お金の稼ぎ方、「お金の入り」の問題。

2 例会は、職業奉仕を通して人生道場になる。職業奉仕を実践するために、「利己と利他の調和」という職業倫理が必要。例会で良質化した人格は、社会と触れ合うなかで、様々な価値、利益を社会に還元。「利己と利他の調和」の精神を心に宿した会員が仕事を行えば職業奉仕の実践。

以上、例会は、職業奉仕を行える人間を育成する場。「奉仕主体形成の場」。例会を頻繁にやり、出席を厳しく求めるのも、海員同志が触れ合うチャンスがないと切磋琢磨できないから。

3 職業奉仕は、Rが「金看板」としてその歴史的役割を担うもの。職業奉仕は、人を論理的生き方に導き、人生の質を高める「お金の出」より「お金の入り」の倫理性を問う。「職業奉仕」という言葉は辞書にない、R独自の用語。他の奉仕団 体にはないR独自の理念。Rは、「職業奉仕」を金看板として、誇りに思っよい。

世の中に存在する人間や団体は、それぞれの役割を担い、機能を分担して社会を構成。Rは、シェルドン以来、「職業奉仕の普及」という歴史的役割を担ってきた。Rが果たすべき重要な役割は、他の団体にみられない「職業奉仕」であろう。

新会員オリエンテーション参加報告 安齋 常克 委員

皆さん、こんにちは、早速ですが、3月25日土曜日に開催されました。県北第一分区及び県北第二分区合同の新会員オリエンテーションに出席いたしましたので、報告をさせていただきます。

当クラブからは、大橋廣治パストガバナー、佐久間功会長、横山りつ子幹事、菅原節子直前会長、海老根潤会員、菊地和宏会員の出席を賜り、新会員として、鈴木洋子会員、穴戸隆司会員、菅野孝之会員と私の4名が新会員として出席致しました。県北第二分区の福島北ロータリークラブが新会員オリエンテーションのホストクラブとしていろいろと進行をされ、終了後の懇親会は県北第一分区の福島21ロータリークラブがホストクラブとして、進行を務めて頂きました。

新会員オリエンテーションで、印象に残りましたのは、県北第一分区、第二分区合同の為15クラブよりそれぞれ代表一名の新会員がお話をする次第の構成となっていて、その中で、あるクラブの新会員の方が「今日は、ロータリーバッチを、忘れて来てしまい。借りて付けています」と、お話をされました。

15名の新会員のお話が終り、大橋廣治パストガバナーの総評があり、そのお話の中で、「先ほど、ロータリーバッチを忘れて来てしまい、借りて付けていますと、お話をしていた新会員の方がいましたが、私も福島南だったならば、会場には、入れませんよ」と第一声のお話がありました。どうして、あの新会員の方は、ロータリーバッチを忘れた事をお話したのか、横山幹事から新会員オリエンテーションの報告をお願いされた時また、思い出してしまいました。思うに、緊張のあまり、出たしまったのではないかと思います。

自分も、当クラブの代表でしたので、久しぶりに緊張させて頂きました。その後の懇親会では、楽しく、過ごさせて頂きました。新会員オリエンテーションの参加報告と致します。

ありがとうございました。



日野皓正復興ライブ報告

日野皓正復興ライブ実行委員会
野地利雄 実行委員長

先月の26日「日野皓正復興ライブ」が大成功で終わる事が出来ました。これは南RC会員の方々の復興に対する熱い思いが実った結果だと思っております。

思えば、昨年末「オール福島」という事で、「福島で復興支援のライブをしましょう」と南相馬・東京青山RCより計画が持ち上がり、開催日など指定され、また費用・会場・準備品等が決った中で「出来るかな。」と申し込まれました。クラブ会長が理事会にかけ、13対1票で12月14日に正式に受ける事がクラブで決定されました。

「いつも、何か皆のために奉仕をしよう」と思っても条件の揃ったチャンスが無ければ出来ませんでした。過去の南相馬でのライブ開催を思いますと、これなら皆に希望と夢を与えられ、クラブにとってもまたと無い素晴らしい機会と思い、クラブに提案させて頂きました。

各委員長始め、委員会の皆さんには大変な苦勞を掛けましたが、結果、公会堂は満員御礼となり、冷たい雨が降っていたにも関わらず、会場内には熱気と期待に包まれました。共催クラブの皆さんも同じ思いで、遠く韓国よりも4名の方が来日され、東京方面のクラブ会員の他、南相馬RCの方々が会員20名の内14名がタスキを付け、お祝い金を持って駆けつけてくれました。実はお断りしたのですが、このロータリアンの友情に熱いものが込み上げてきました。我がクラブは会員数74名ですが、何か取組があった時会長始め我々パスト会長他、理事の方々はクラブ会員に対し、ロータリアンとしてそのような指導をしているのか、多々反省しなければと思いました。ロータリーの良さがなく、只のクラブサロン化していくことが危惧されます。

ライブは菅原影アナの進行で順調に進み、最後には一般観客の他、成蹊高校の生徒を加え、素晴らしいセッションで感動のフィナーレを迎えました。

今回苦勞した点は、このライブ関係の打合せが対ロータリアンとの折衝でなく、一般の方々との折衝のため奉仕の心が通じなく、本当に大変苦勞致しましたが、観客の中には涙を流す方もおり、それを思いますと苦勞も報われた思いです。

日野さん一行は、翌日11時過ぎの新幹線で元気よく東京にお帰りになり、これを持って「日野皓正クインテット復興ライブ」が無事終演致しました。

気になる決算についてはまだ支払がありますので決りませんが本決算において30万～35万程残るかと思ひ残金については奉仕活力に廻してもらいます。

会員の皆さんには大変お世話になり、ありがとうございました。少しは南RCの公共イメージ向上に繋がったら幸いに思います。



< 3月・4月お誕生日御祝 >

佐久間 功 会員
昭和23年4月2日
黒羽 好夫 会員
昭和24年4月24日
穴戸 隆司 会員
昭和33年4月12日
佐藤 朋也 会員
昭和33年4月20日
赤間 浩一 会員
昭和50年4月26日
高橋 勇雄 会員
昭和26年3月22日



4月ロータリーの友読みどころ
クラブ広報雑誌委員会
丹治 洋子委員長



佐藤 佑 元会員記念品贈呈